



消防団たずね歩き

歴史、地域と共に歩む消防団

今回は、毎年秋におこなわれております「玉津健康ウォーク」と玉津地域にある史跡について紹介させていただきます。「玉津健康ウォーク」ですが、もともとは「玉津史跡めぐりウォーク」として始まり、住民の方が地元の史跡を巡りながら自然の中を歩き地域での交流を図ることを目的として実施されております。玉津支団は自治会、婦人会等の団体とともに実施委員として参加しております。主な担当としてはコース誘導、交通事故防止や、気分が悪くなったり歩けなくなった方の搬送等の警護をおこなっております。15回目となりました昨年は西区役所を出発し、王塚古墳～野々池～林崎疎水等を巡り7kmのコースでおこなわれ、最後は婦人会さん恒例の豚汁をいただき、参加された皆さんは楽しい半日を過ごされました。

玉津地域は明石平野に位置し中心に明石川が流れ水に恵まれていたこともあり、近畿地方では最も古くから水田稲作がおこなわれ、播磨吉田遺跡、新方遺跡など弥生時代前期に属性する農村集落が誕生

し多くの遺跡が残っております。せっかくですので2カ所ほど旧跡を紹介させていただきます。まずは王塚古墳、5世紀頃築造された明石川流域最大の前方後円墳で、全長102m、周囲に濠を巡らしよく原形を保たれた古墳です。日本書記の推古天皇十一條に「秋七月辛丑の朔癸卯に当麻皇子難波より発船す、時に従う妻舎人姫王赤石に墓せぬ。仍りて赤石の檜笠岡の上に葬る」とあることからこの古墳を舎人姫王のお墓とする説もあります。周囲は王塚史跡公園となっており、春になれば桜が咲き誇ります。

次は吉田南遺跡です。昭和51年に神戸市水環境センターの工事で発見され、弥生時代から室町時代に至る1000年以上続いた集落遺跡です。特に奈良時代後半から平安時代の整然と並ぶ堀立柱建物などから明石郡衙跡と推定されています。

玉津支団は今後も地域の活動を通じ、地域の方々との交流を深め、防火防災活動につなげてまいります。

(西消防団 玉津支団本部付 鳥井秀記)



地域に根付いた消防団を目ざしています!

～地域住民の安全・安心を確保するために～



神戸市消防局
神戸市消防団

